

授業概要

情報ビジネス科

科目名	データベース		
担当教員	鎌田 直樹		
実務経験	S I e rにてオペレーター、プログラマー、システムエンジニアとして6年間勤務。主にファクトリーオートメーション(FA)を中心にシステム開発を担当。		
対象学生	情報ビジネス科1年		
曜日・時間	週2コマ 全124コマ 時間数112.0		
授業形態	演習(50%)と実習(50%)を併用する		
科目の概要	データベースソフトウェア「A c c e s s」を使用して、テーブル、フォーム、クエリ、レポートの作成や活用について学ぶ。これらの機能を活用して、リレーショナルデータベースの基本的な考え方についても学ぶ。		
授業の到達目標	データベースの役割について説明できる。 目的に合わせたテーブルを作成しデータベースを構築できる。 テーブルにデータを追加・削除・更新ができる。 条件を指定してテーブルからデータを抽出できる。 データを活用し、目的のレポート、フォームなどの作成ができる。 M O S A C C E S S 2016の資格を取得する。		
授業方法・学習上注意	データベースソフトはMicrosoft社のA C C E S S 2016を使用する。 授業では毎回、前半で演習を実施し、後半で課題の作成を行う。 検定対策授業では模擬試験システムを使用して、繰り返し練習を行いA C C E S Sの機能をマスターする。		
成績評価の方法と基準	課題の提出、模擬試験および期末考査、授業への取り組み姿勢から総合的に判断する。配点は(期末考査50%、模擬試験30%、授業への姿勢20%)		
使用テキスト	書籍名	出版社	I S B N
	30時間でマスター Access2013	実教出版	978-4-407-33268-1
	よくわかるマスター Microsoft Word 2016 対策テキスト&問題集	F O M出版	978-4-86510-318-2
教材・参考文献・図譜	書籍名	出版社	I S B N
授業計画(内容)			時間
1	Accessの基本操作とテーブル		2
2	色々なデータ抽出1		2
3	色々なデータ抽出2		2
4	色々なデータ抽出3		2
5	色々なデータ抽出4		2
6	実習課題1		2
7	データの並び替え1		2

8	データの並び替え2	2
9	データの印刷	2
10	データベースのデータ編集	2
11	テーブルの操作	2
12	データベースの設計	2
13	テーブル作成1	2
14	テーブル作成2	2
15	実習課題2	2
16	リレーションシップの作成と確認	2
17	リレーションシップされたクエリの計算	2
18	クエリの高度な活用	2
19	レポートの作成と印刷	2
20	総合演習1	2
21	総合演習2	2
22	総合演習3	2
23	マクロの利用	2
24	期末考査	2
25	模擬試験での実技練習	76
		合計 124
		授業時数 112